

	<h1>岡山一宮 SSH 通信</h1>	令和3年度 第19号 令和3年12月22日 岡山県立岡山一宮高等学校 SSH戦略室
-----------------------------------------------------------------------------------	----------------------	----------------------------------------------------

iCサイエンスフィールドワーク企業訪問研修

12月15日(水)の午後に、iCサイエンスフィールドワークのフィールドワーク実習を行いました。この実習では、理数科1年生79名がシバセ工業株式会社、ナカシマプロペラ株式会社、株式会社岡山村田製作所、倉敷自然史博物館、地球史研究所、株式会社林原藤崎研究所の6方面に分かれて企業・研究施設を見学しました。

研修当日までに、iCサイエンスフィールドワークの授業で、訪問先の企業について調べて学びたいこと・聞いてみたいことを整理しました。事後の報告会では、訪問先が違うメンバーで班をつくり、それぞれの研修内容について共有しました。生徒からは、来年度の理数探究に向かう気持ちだけでなく、社会に貢献する気持ちが高まったという感想がよく聞かれました。企業訪問研修の後に実施したアンケートにおいては、iコンピテンシーのうち、「V垣根を超える力」にあたる「様々な研究資源を活用しようとする」力や、「IV自律的に行動する力」にあたる「自ら役割を選び取り、目標を設定しようとする力」がそれぞれ身についたと回答する生徒が多数いました。

【シバセ工業株式会社】

シバセ工業株式会社では、ストローを生産、仕分けしているようすを見学させていただいたり、事前の質問にスライドを使って丁寧に説明していただいたりしました。今回の企業訪問を通して、生徒たちからは、「何かを作ったり研究したりするときに、材質の違いを比較したり、作り方の工夫について冷静に判断したりする力が重要だと学んだ。」や「誰かの意見や主張を鵜呑みにしたり、流されたりせずに、自分で考えることが大切なのだということがよくわかった。」など実感のこもった感想が出されました。

【ナカシマプロペラ株式会社】

初めに会社の紹介ビデオを見せていただきました。主に船舶の航行用プロペラを製作しており、海外にも多くの拠点を持っているということでした。その後、工場で実際に作っている大きさや材質の異なる様々なプロペラを見せていただき、最後の仕上げ(研磨作業)では、機械よりも人間の手の方がはるかにきれいにでき、機械と人間の協同作業で1つの製品が完成することに生徒たちは感動していました。研修の最後には、一宮高校OBの社員の方3名から直接お話を聞く機会をいただき、生徒たちも入社したきっかけや今後どんな勉強をしたらよいかなどを熱心に質問し、大いに刺激をうけたようでした。

【株式会社岡山村田製作所】

岡山村田製作所では、製品の紹介や取り組みについて説明を受けたり、実際に部品を作っている工場を見学したりしました。生徒たちは、工場の見学をして「小さな部品を作るのに何十工程も行っていてすごい」と感動していました。また、社員の方のお話から「どんな仕事でも社員である自分達につながっていることや「一人一人が自分の役割を果たすことで会社として社会に貢献する」ことを実感したようでした。

【倉敷自然史博物館】

倉敷自然史博物館では、博物館内の展示を見て回り、各自の疑問を自分たちで調べていくという活動を行いました。ただ展示を眺めるのではなく、事前に持っていた疑問について展示を見ながら解決していくことで、興味のある分野の知識をより一層深められているようでした。また、様々な分野の展示を別の疑問を持った生徒たちと見て回ることで、他分野の知識も興味を持って深めることができていました。

【地球史研究所】

地球史研究所では、所長である乙藤洋一郎さんから、「地球のでき方」について講義をしていただいた後、近くにある野外の三畳紀の露頭に行き、説明を受けました。地球史研究所の研究内容を事前に学習していたので、専門的な質問ができていました。乙藤先生からは、「わかるかな〜?」と思いながらの講義をしましたが、講義後の感想を読むと、かなり理解度が高いと感心しました。」というお言葉をいただきました。

【株式会社林原（藤崎研究所）】

株式会社林原（藤崎研究所）では、研究開発をはじめとする様々な取り組みについての説明と研究施設見学の後、土壌の微生物から酵素を見つける素材探索過程実習、顕微鏡での人間の組織細胞観察、トレハロースの効用体験など貴重な体験をさせていただきました。「失敗しても決して心折れず、むしろ失敗を活かして次にチャレンジすることが大切」という研究者の実感を伴うアドバイスから、生徒ひとりひとりが研究開発に必要な心構えを学ぶことができました。

【シバセ工業株式会社】



【ナカシマプロペラ株式会社】



【株式会社岡山村田製作所】



【倉敷自然史博物館】



【地球史研究所】



【株式会社林原（藤崎研究所）】

